

サシクチャンネル



令和6年5月号

CAR



車について詳しく知っていますか？

最近は暖かくなり、出かけるにはとても良い季節となりました。5月は長期休みも多いため、遠方にドライブに出掛ける方も多いと思います。

車について知り、よいカーライフを過ごしましょう。

車のボディタイプ

車は形(ボディ)によって種類が分かれています。今回は街中でよく見かけるボディタイプについて紹介します。

・セダン

エンジンルーム、客室、荷室が独立しており、4ドアのモデルです。低重心であり、運転席からの視界に死角が少ないとといった特徴もあります。セダンをベースにしたもので、スポーティーな形で2ドアの「チープ」や、荷室空間にゆとりをもった「ステーションワゴン」などの型があります。



・ミニバン

明確な定義はありませんが、一般的には客室と荷室がひとつになっていて三列シートを備えた、居住スペースが広いボックススタイルのモデルです。たくさんの荷物がのせられるため子供の送迎や旅行など、幅広い用途で活躍します。また、長距離運転をする人にもおすすめです。



・SUV

「スポーツ・ユーティリティ・ビークル」の略称であり、スポーツ用多目的車の意味をもちます。SUVのなかにも種類があり、主に市街地での走行をメインとした「クロスオーバーSUV」、未舗装路や凍結した道、ぬかるんだ道の走行もできる「クロスカントリーSUV(クロカン)」の2種類があります。



・軽自動車

排気量660cc以下で、ボディサイズが全長3.4m以下、全幅1.48m以下、全高2.0m以下の車を指します。小回りが利き運転がしやすい車です。また、税金(軽自動車税、自動車重量税)を抑えたい方にもおすすめです。



使っていますか？

最新鋭 車の機能

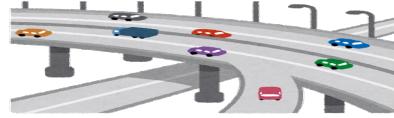
・スマートキー

最新の車についている「スマートキー」はキーを携帯していれば、ドアノブに触れるだけでロックやアンロックの操作が可能です。またその応用で、リアゲートやリアスライドドアの下部に足を差し入れると開閉する機能が備わった車も出てきています。



・アダプティブクルーズコントロール(ACC)

速度を設定するとその速度で走る機能です。先行車に追いつくと自動で減速し、先行車が加速するとその速度に合わせて自動で速度を回復します。機能が搭載された当初は30km/h以下など低速になるとキャンセルされてしまいましたが、最近は停止までフォローする全車速追従タイプが主流となっていました。高速道路での長距離走行に役立ちます。



・ブレーキホールド機能

スイッチを入れておくと一時停止と同時にブレーキがかかった状態になるため、ブレーキペダルから足を離すことができます。発進時はアクセルを軽く踏むだけで解除できます。今まで一時停止をするときはブレーキペダルを踏みっぱなしにするか、パーキングブレーキを掛けたという動作が必要でした。ブレーキホールド機能を使うことでこれらの動作が不要になり、発進時の手間もなくなります。

寿命を縮める NG行為！



タイヤ止めにタイヤを接触させて駐車する

足回りの部品に力がかかる状態でクルマを駐車することになり、部品は変形したままになってしまいます。長期間タイヤが変形したままだと、劣化が早まってしまいます。駐車の際タイヤ止めにタイヤが当たったら、ほんの少しだけ位置を戻すことで変形を防ぐことができます。



止まったままハンドルを回す

タイヤの消耗が進む、ステアリング機構に負担がかかるなど、足回りに大きな負担がかかります。狭い駐車場などで何度も切り返さなければならない時は、ほんの少しブレーキを緩めながら車を動かすことで負担を軽減することができます。



完全停止する前のシフトチェンジ

特にAT車にとってはとても負担が大きくクラッチの摩耗やトランクションを傷めることになってしまいます。完全に停止してからシフトチェンジするだけで故障のリスクを低減することができます。



エンジン始動後すぐに全開で走り出す

エンジンが冷えた状態だとオイルが温まっておらずエンジン本来の性能100%を発揮することができません。エンジンやミッション内のオイル潤滑が十分でなく油膜不良になる可能性もあります。オイルが適正に潤滑するようゆっくり走りだしましょう。

